



經濟自立への道

日本鑛業協會

專務理事 園原 巖

講和條約は愈々この春に効力が發生して日本は七年振りで獨立國家として再發足することが出来るのである。まず御芽出度いことである。併しその前途にはいろいろの難關が横わつてゐるに思われる。先ず第一に經濟の自立である。併し四百萬の人口を抱いてこの狭い國土で人たるに値いする生活水準を維持しつつ財政支出、國際收支の均衡をとつてゆくことは尋常一様のことではない。さなきだに膨脹し易い財政支出に講和關係諸支出が加わるのであるから、行政機構の縮少其他格段の方法を構じて國費の節約を計らなければならぬ。一方國際收支の均衡は是亦一大事である。工業施設を全面的に活用して輸出の振興を計ることが第一義であるが、其他に原料輸入費の切下げ、貿易外収入の増加、支出の節約などの方法によつて外貨の獲得、外貨支拂の節減を計ることが要請されて來る。

わが非鐵金屬鑛業界は日本經濟の一翼としてこの自立經濟の達成にどのような方法でその役割を果すべきであらうか。

國產増強による外貨の節約が第一であらう。非鐵金屬は幸いに鐵や輕金屬に比べて國內自給率が高い。業界の奮發次第で、又政府の施策が宜しきを得れば、重要な金屬はその大部分を國產品で賄つて輸入しないで済む可能性がある。「内に出来るものを外から買ふな」という意氣込みで外貨資金の節約を計ることがわれわれの任務でなければならぬ。昨年中は硫化鐵鑛、亞鉛鑛、滿庵鑛、水銀などを輸入して國內市場を壓迫した。今後は國內需要は國內生産で間に合わせるといふことを目標にして進む可きであらう。

第二に加工貿易方式や國內過剰生産物の輸出による外貨の獲得に進む可きである。銅鑛石、ニッケル鑛石、タンゲステン鑛石など國內産出物が比較的少なくて、製鍊能力に餘裕のあるものは積極的に海外から原鑛石を輸入してこれを加工し可成最終製品にまで仕上げたものを海外に再輸出する方向に進むべきである。また幸いに國內生産が國內需要を充して尙餘裕のあるような銀、亞鉛、硫黄というようなものはなるべく加工度の高い商品にして海外に輸出し積極的に外貨を獲得することに努むべきであらう。

さて各産業界各々その分野で最善の努力をして日本經濟の自立のために協力するとしても人口過剩、資源貧弱な日本としては矢張り國際收支の均衡を維持することは難中の難事であるように思われる。國際收支が年々逆調で圓の價值が維持出来ないとなると問題は非常に深刻になる。そんなことにならないように對外支拂手段を確保する最後の保障として金の増産があり、これも亦われわれ鑛山業者の任務である。日本は嘗つては世界にその名を轟かせた産金國であり、現に昭和十五年産金奨励政策の充實していた頃は年産二十五萬を擧げて大いに氣をそがれたのである。上述の國產充實策も加工貿易策もこの産金充實も政府の施策が宜しきを得ればそれが業界を刺激して必ず所期の目標を達成出来るように思われるので政府當局の積極政策の樹立を期待するものである。

日本鑛業協會誌 (第五卷第三號)

三月號目次

(巻頭言)

☆經濟自立への道……………園原 巖

☆一九五二年初頭に於ける海外非鐵金屬市況の動向…宮田常也…二

(協會研究發表)
☆神岡鑛山に於ける浮選廢滓のポンプ輸送に就て……………草野織平…六
近藤敏夫…六

☆米國の新しい硫黃採鑛法(下)……………諏訪 浩…三

☆米 國 雜 感……………森田尻男…三
(解 說)

☆I.M.F に就て……………三

(特 集)
☆北海道鑛業の概況(上)……………三

▽鑛山の科學管理……………九

▽月間の動き……………六

▽最近の本邦銅需給に關する資料……………六

▽協會だより……………四

▽ニユー ス……………四

▽資 料……………四

【附表】北海道鑛山分布圖……………四

〔表紙寫眞〕北海道硫黃株式會社幌別鑛山
なお、二月號表紙寫眞説明に日本精鑛株式會社中澤鑛業所とあるは中瀬鑛業所の誤につき訂正いたします。